

令和4年度 安全・保守管理群 安全衛生管理グループ研修  
『多部局間双方向研修』開催要綱

## 1. 目的

多部局間双方向研修は、参集した複数部局の担当職員が安全衛生管理業務に係る特定テーマについて、自部局における対応方法や過去に発生したインシデント等について相互に情報提供及び意見交換を行うことにより、参集部局の双方向のモニタリングを実施し適切な安全衛生管理業務について理解の促進を目的とする。

## 2. 対象者

- 安全衛生管理グループに所属する職員
- 安全・保守管理群に所属し参加を希望する職員
- 日頃より安全巡視業務を担当しており参加を希望する職員

## 3. 開催日時

安全衛生管理グループに所属する職員を対象に日程調整のうえ、開催日時を決定する。  
また、Google Meet によるオンライン開催の予定。

## 4. プログラム

- 1 開催挨拶（斉藤グループ長）
- 2 テーマ確認（川本チームリーダー）
- 3 情報提供及び意見交換
- 4 その他 質疑応答等

## 5. その他

第1回多部局間双方向研修では、衛生管理者として研究室巡視を行うことを想定した教材を使用し、グループワークを行います。

第2回以降は、安全衛生管理グループに所属する職員の意見等からテーマを選定し、情報提供及び意見交換を行います。

本研修は録画させていただきますので、ご了承ください。

## 研修実施報告書

### 1. 研修題名

令和4年度 第1回多部局間双方向研修

### 2. 研修のねらい・目標

安全衛生管理業務に係る特定テーマについて、自部局における対処方法や過去に発生したインシデント等について相互に情報提供及び意見交換を行うことにより、参集部局の双方向のモニタリングを実施しながら適切な安全衛生管理業務についての理解を促進する。

### 3. 研修内容

実施日時：令和4年12月12日（月）14時～15時40分

参加者数：15名（安全衛生管理グループチーム：6名、安全・保守管理群：4名、他職群：5名）

新型コロナウイルス感染防止対策として、オンラインにより実施した。オンラインミーティングアプリのグループセッション機能により、参加者を3～4名のグループ編成として少人数ディスカッションを実施後、全体でのディスカッションを行った。

### 4. 研修成果

事前に配付した教材を基に、安全・衛生管理者として職場巡視を実施する際に指摘する項目やその理由についてグループディスカッションを行うことにより、自身が普段の巡視で注視している項目を再確認するとともに、他部局や他者が注視している項目についても確認することができた。また、グループディスカッションの結果を参加者へ報告することにより、各部局での耐震固定の方法やコード類の取扱い、巡視後の対応についての意見交換や情報共有ができた。

グループディスカッションでの確認や、その後の報告での意見交換及び共有した情報等により、参加者がより幅広い視点から巡視を実施できるようになり、巡視の質のさらなる向上が期待できる。

### 5. 課題

教材には薬品や高圧ガス使用の有無、研究の内容等を記載しなかったため、グループディスカッションで指摘事項とするか否か、判断に迷うとの声が聞かれた。今後、同様の研修を実施する場合は、教材に係る条件設定を細やかに行うとより良いと思料される。

### 6. 備考

今回の研修では職場巡視（安全巡視）の教材として、学内のある特定の部局内における実際の巡視箇所の画像を使用した。部局内での巡視箇所の画像や事故報告などはデリケートな題材で扱いが難しいが、その分、それらの改善報告（改善方法のアイデアなど）は巡視を含む安全管理を実施するうえで貴重な情報であり、学内の関係者で共有すべき大きな財産となりうる。今後、各部局において提供可能な情報を如何に共有していくか、データベース化できるか、模索していくべき課題ととらえる。なお、研修内で意見交換された冷蔵庫の耐震固定のアイデアについて、研修後に参加者間で情報共有した（情報提供元：工学研究科）。